

『Mind Charging』

第 150 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 11 月 11 日

クリストファー・コロンブスの名言



**It's difficult to create one from a zero.
It's easy to make two with one.**

0 から 1 を創るのは難しい。1 から 2 を作ることは易しい。

みなさんをご存知の通り、アメリカ大陸を発見した大航海時代の探検家です。現代の状況を考えると、世界一の大国と呼ばれるアメリカが、国としてどこか世界中に認知されていない時代があったという事実が信じられません。もし、彼がアメリカ大陸を発見していなかったら現在はどうな国になっていたのでしょうか。彼が発見できていなくても、文明の発達によって彼が発見したタイミングとさほど変わることなく誰かによって発見され、国として発展したのだらうとは思いますが、現在と同じような大国になっていたかということについてはわかりません。

世界は今めまぐるしい変化をしています。彼の言葉を借りれば『1 から 2 を作ることだから易しい』ことなのかもしれませんが、『1 を 0 にすること』に取りかかっているようにも見えます。これは難しいと言われる『0 から 1 を創る』準備をする作業ですから本当に難しいことだと思います。『今のベスト』を追求していくうえで『リセット・リスタート』も重要なことです。自分の人生の中で、『これは自分が最初に発見した！』と断言できることはありますか？現代で初めての人になることは非常に難しいですが、だからこそ『誰かがある程度までやってくれるだろう』という思考が自分の成長を妨げることを肝に銘じておくことが重要なのではないのでしょうか。世界平和を保つ意味でも個々の人生を充実させていく意味でも同じテーマになるのではないのでしょうか。挑戦は新たな結果を求めて取り組むという意味では探検であり発見です。正智深谷が『人生の探検』の舞台にするのは主役であるみなさんです！難しいことに果敢に挑戦し、自分の視野を広げていきましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

クリストファー・コロンブス(伊: Cristoforo Colombo、羅: Christophorus Columbus、西: Cristóbal Colón、葡: Cristóvão Colombo、英: Christopher Columbus、1451 年ごろ - 1506 年 5 月 20 日)は探検家・航海者・コンキスタドール、奴隷商人。定説ではイタリアのジェノヴァ出身。ランス・オ・メーが発見されるまでは大航海時代においてキリスト教世界の白人としては最初にアメリカ海域へ到達したとされていた。(Wikipedia 参照)